

トップで聞く

26

人材紹介や派遣、職業訓練のほか、ビジネス研修など幅広く活躍しています。起業の原点を教えてください。

30歳を過ぎて趣味でパソコンに触ったことが今につながりました。結婚して15年ほど専業主婦だったんです。当時、本でソフトウェアの使い方を学び、資格を取得しました。パソコンのインストラクターとして働き、教室も開くことになりました。趣味が仕事になったんです。

会社の創立は2001(平成13)年で、今の社名の「ステップアップ」は、夫が考えてくれました。友達に手伝ってもらいながら仕事を増やしてきました。

—どのようにな仕事を広げた

ステップアップ(上市町) 川合 紀子社長

「一歩でも前へ」誓い

のですか。

起業した年から国の緊急雇用対策で離職者の職業訓練を始め、ビジネス研修やキャリア開発講座にも取り組みました。訓練生を就職させる業務が必要になり、人材紹介の事業認可を受けたんです。

—どのようにな小さな会社は

一度でも断ると、仕事がこななくなるので期待に添えるよう業務を広げました。「はい、やります」と頑張ってきたんです。

マルチ人間に

—どのようにな人材を育成したいと考えていますか。

ひと言で言え

ばマルチ人間です。一つの専門だけではなく、複数の分野を学ぶ人になってほしいです。仕事に関する基本的な知識を持ち、気配り、目配り、

心配り、判断力や行動力がある人になってほしいと願っています。

派遣者は女性が多く、今は事務系の職場で働いてもらうことが多いですね。女性は自分のキャリアアップより子どものためのお金を優先しがちで、考えさせられます。

幅広い世代と接点

—昨年から子ども向けにパソコンのプログラムも教えていますね。

来年から小学校でプログラミングが必修になるのに先駆けて教室を開設しました。ボードゲームを楽しみながら論理的思考力を身に付けるコースも設けました。

左: 川合社長、右: 本社のスタッフと打ち合わせする川合社長(左)のステップアップ本社

かわい・のりこ(旧大山町(富山市)生まれ、62歳。結婚後、1995年に上市町の自宅でパソコン教室を開き、2001年に「ステップアップ」を設立した。04年に富山問屋センター校を開校。パソコンの各種認定インストラクターやキャリアコンサルタント、教育カウンセラー、心理相談員など資格多数。富山経済同友会会員、拡大委員長。

取材メモ 海外に進出する企業と外国人留学生や留学経験のある学生を結び「グローバル人材マッチング事業」も手掛ける。社長のニーズや情報を一歩でも早く知ることが仕事につながると心得る。たった一歩の違い、そして一歩の積み重ねが、未来を大きく変えるのだと思う。

(き)

スも設けました。会議室やノートパソコンを貸し出す「シェアリング事業」も始めたいです。子どもの勉強から高齢者の仕事まで、幅広い世代の方と接点があります。

—職業訓練などの講師を務める中で、何を伝えたいと思っていますか。

勉強で「なんでこんなものを」と思っても必ず未来につながるのだと知ってもらいたいですね。私自身、弱くて踏みとまりたいこともありましたが、「一歩ずつ半歩でもいい。今より前へ」と心の中で繰り返してきました。会社を創業したころに自分で考えた言葉なんです。これからも、心に刻んで進んでいきたいですね。